

### 寒い待合室は考えて欲しい

病院の待合室はわびしい。殺風景なザラザラした多くの病院の待合室は、よけいにこの感じを深くする。重態な病人をつれこんで待合室で待たされる時間の長いこと。又熱のある子供に出来るだけ着ぶくれさせて待つている間の長いこと。特に寒い季節になれば、わびしい心をかきたててトゲトゲした気持ちにさせる。田舎の病院などで、汚い火鉢の残り少い火をかきたてゝ待つている間の寒いこと。よく炎つた蒼白い顔、細い体が細い手を差し出して少い火をかこんでいる風景がよくあるのであるが、いちまつの淋しいスケッチではある。

病院にゆけばまず受付から待合室まで第一の印象が焼きつけられるのであるから、待つ身になつてその設計なり、そのサービスなり考えて欲しいものである。

明るい暖い待合室で、而もまめに掃除がゆきとどいて、椅子など整然としていたならば、どんなに病人達は幸いであろう。

時に待合室の隅に花などいけてあれば、院長や婦長などのころざしの程がほんとにゆしくしのばれて、ほのぼのとした感じになるものである。

よく待合室のない病院があつて、廊下をそれにあてているのは余り感心出来ない。夏の間は長い廊下を吹きわたる風も快いこともあるが、冬ともなれば、ひとしお寒さを感じさせ、襟巻きをかきたてさせる。病院のサービスとして特に冬は暖い待合室を考えて欲しいものである。

(E・H)